



かくどうほいく

No.61  
2023.6.9  
発行：特定非営利活動法人  
所沢市学童クラブの会  
広報委員会  
所沢市くすのき台2-20-6  
Tel : 04-2994-6753

## みんなでつながる がくどうほいく



# 支え合い 学び合う 職員

職員部会長

石上 将史



今年度、職員部会では「私たち、放課後児童支援員は、保育者としてのまなざしを磨き、子どもとともに生活をつくり、日々の生活を通して子どもたちが健やかに成長・発達していくように支援します。」というスローガンを掲げてスタートしました。

各地区的支援員会を中心に、支え合い、学び合いを大切に、各クラブの保育内容の充実を目指していきます。

新型コロナが五類感染症となりましたが、マスクを外して遊べると喜んでいる子が多い一方で、急な変化に戸惑っている子もいます。一人ひとりの気持ちを丁寧に受けとめ、安心して新しい生活に慣れていくように寄り添っていき

ます。その上で、これまで引きなった手作りおやつや行事等も少しずつ実現していただけないと考えています。昨年度から行っている職務規定や各種マニュアル等の見直しについても引き続き取り組んでいきます。

お子さんのことやそれ以外でも、何か気になること等ございましたら、遠慮なく各クラブの支援員までお知らせください。

### 職員部会とは

当会は、市内十九か所の学童クラブを運営しています。その十九クラブの職員で組織しているのが「職員部会」です。

毎年「職員部会」としての方針や取り組みを職員全員で確認し、学び合い、支え合い、一人ひとりが主体性を發揮できる職員集団をめざし活動しています。四～六クラブずつ四つの地区に分かれての活動も行っており、クラブを超えて、保育交流や情報交流、事例検討等を行っています。また、研修の企画運営も職員部会で行っています。

## 二〇二三年度 新人紹介

並木 亜由美 松井学童クラブ



なみ  
あゆみ

- ①絵を描く、工作、バドミントン、一輪車、体を動かすこと。
- ②子どもたちが安心して有意義な時間が過ごせるようなクラブにするために力を尽くしていくです。
- ③お酒、美味しいもの、ラーメン、旅行

遠藤 望 三ヶ島学童クラブ



ハジくん

- ①キックベース、工作
- ②学童に携わる皆さんとともに、頭と身体をフル回転させて子どもたちの成長に寄与できるよう尽力いたします。
- ③野球、読書、小説を書くこと

三浦 大樹 若松学童クラブ



だいくん  
だいき

- ①ポコパン、サッカー、鬼ごっこ
- ②子どもたちが自分らしく心地よく過ごし遊べる、保護者の方々から信頼していただけるようなクラブを運営していくため、尽力していきます。
- ③風景や野鳥の撮影、バンドでのドラム演奏、フットサル

鮎川 雄樹 安松学童クラブ



あゆ

- ①ドロケイ、遊具遊び
- ②子ども達が安心して居られる場所作りのサポートが出来るよう努めています。
- ③散歩、映画鑑賞

- ①子どもの時好きだった遊び
- ②意気込み
- ③趣味・特技

# 会長挨拶

## 所沢市学童クラブの会

会長 大谷 節子



さて、二〇二〇年に五年間の指定管理者制度の下十六ヶ所の学童クラブを受託いたしました。

また、「アローヤンクラブ」と「ひだまりみなみ」は民設民営、緑町三丁目「よつばくクラブ」が独自の施設となつて三年目になります。

日頃より所沢市学童クラブの会にご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

五月二十一日（日）に四回所沢市学童クラブの会総会を四年ぶりに対面で開催することができました。

出席者を制限させていただきましたが、様々なご意見が提出され、久しぶりに人と人の暖かさを実感いたしました。この間コロナ禍の中、感染拡大防止対策を意識しながらも、学童の運営にご協力いたしました。保護者の皆様、そして、現場の職員の皆さんの努力に感謝いたします。

さて、お子様や保護者の皆様にも、学童クラブの会に任せてよかつたと思えるような事業内容を目標として参ります。そして、次の指定管理選定でも継続できるよう、将来の見通しを持ちながら学童クラブの会がますます発展できるよう努力していく所存でございます。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



# やうこそ学童へ、一年生エピソード

## 林学童

入所式です。

今年は、四月三日に行いました。新一年生、二年生以上、

指導員の順番で名前の紹介をしてから、学童

でのお約束を新

一年生に話して

います。学童で

のお約束は新一

年生が知るとい

うより、二年生

以上の子たちが

学童でのお約束

林学童クラブでは、毎年入所式を行っています。「早く学童のことを知つてもらえるといいなあ」「早くみんなの名前を覚えてくれるといいなあ」「新しい仲間が増えたね!」「みんな(二年生以上)は、お兄さんお姉さんになるんだね!」「よろしくね!」という思いを込めて行うのが

置いているのでは?と感じているのは指導員だけでしょうか?(笑)

最後は、子どもたちが作ったプレゼントを渡しておわり!

というとても短い会です。全體で行つ入所式はここまでで、

その後は校庭の遊具の使い方を再確認する方にウエイトを置いています。ドキドキしながらも、しっかりと丁寧に話している様子をみるとお兄さんになったなあと実感します。

司会などは、高学年にお願いしています。「やだな」「やりたくない」「面倒だい:」と言いながらも子どもたち同士で入念に確認し合っている姿が見られ、頼もしく感じました。

色々な経験を重ねてみんなで成長しながら思いつきり楽しくでいきたいと思います。



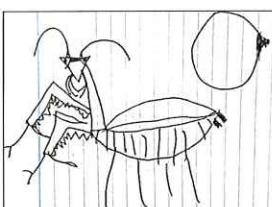
## 和田学童

四月、可憐な花からの青葉へ変身する桜と共に、たつのこクラブ(和田学童)にはピッカピッカの新一年生が二十一人やってきました。はじめての学童クラブに不安でなかなか部屋に入れない子、お仕事へ行くお母さんに泣きついてしまう子、毎年展開するドラマが今年もありました。

二年生以上はそわそわしながら、少し遠巻きに一年生の様子を見ている子が多くつた

のですが、その中で二年生の積極的な女子が先輩として遊びをリードする姿がほほえましく素敵でした。一年生紹介を大書きで提示して、出身保育園をクローズアップしたことも歓迎ムードにつながったようです。

四月の一年生はお絵かきや折り紙、工作等で毎日素敵な作品をたくさん作っていました



リポーターの前野です。今年の四月から、慣れ親しんだ南地区を離れ、北地区若松学童クラブを中心にお世話をしています。五十八人の子ども達の素敵な笑顔と発想豊かな感性に日々刺激を受けて、沢山のエネルギーと癒しを頂戴しています。子ども達だけでなく指導員会、保護者の方々からも沢山の学びを頂いています。「学童保育」って本当に奥が深いです。

二〇二三年度も子ども達の笑顔溢れる楽しいエピソード等を楽しくリポートしていきますね。よろしくお願ひします。

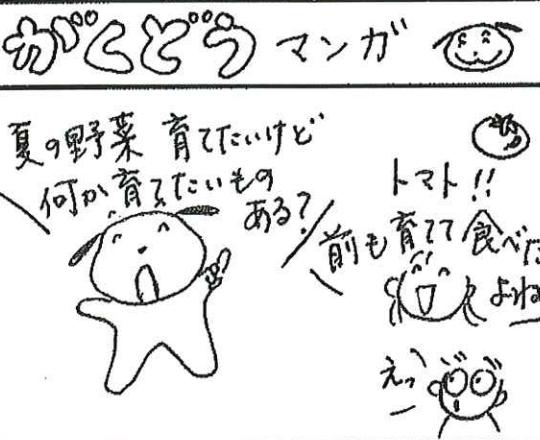
### シリーズ 前ちゃんの現地リポート ③の予告





飯野 有紀 指導員

仲栄学童クラブ



毎年四月に「ゆきちゃんって呼んでね」と言っているのですが上級生が「飯野さん」と呼ぶので一年生の子たちも気が付いたら「飯野さん」呼びになってしまいます。子どもたちからは、遊びの中では頑張れば勝てる相手くらいに思われているのかな?と思います。一年生の女の子から毎日「かわいいね」と言われ

いています。自分で『かわいい靴下履いて仕事がんばるぞ』つて気持ちで、好きなサンリオやジブリのキャラクターのを履いています。先日保護者から『飯野さんいつ見ても短い靴下履いててすごいですよね』って言われました。』とのことでした。

六年生ですが、「私はどうしたらいいんでしょうか?」と、涙ながらに相談してきて、どうしたら子どもたちが落ちついた学童生活が送れるだろうと話し合いました。子どもたちからも「トマトの他に何が育てたいものある?」と聞かれます。子どもたちからは、遊

飯野さんの良い所は、自分ができないことはしっかりと聞いてくれる。そのことにに対してどうしていったらよいかと一緒に考えられる、所なのだと。

六年生を迎えました。一年生になつた喜びいっぱいでは時には顔を砂で黒くしながら元気いっぱいに遊ぶ子どもたち。お兄さんお姉さんの遊びに興味津々な子が沢山いて、そんな一年生を温かく迎えてくれる上級生。全体の人数が少ないからこそ、いろいろな学年とつながりやすいのは強みではあるのかなと思います。

まだこれからもコロナ禍の波は続くかもしれませんのが、「みんなでつながるがくどうほりく」のテーマのもとつながりを感じられる楽しい1年になつたらと思ひます。

ていたり、三、四年生からは突つ込みの対象だったりと、子ども達にとつてとても話しやすい大人だと思っています、との同僚の弁。

「指導員として大切にしていること」をうかがったところ、「どれだけ寒くても靴下はくる

り方を教えていく中で、私もすっかりハマりました。頭を使うゲームなので、勝てる時と勝てない時がありますが、その楽しさに子どもたちでもハマる子はすぐハマります。今度、数年前まで学童に在籍していた子が「ミーキューブ」の大会に出るそうなので、私も楽しみです。

同僚の指導員にうかがった所、靴下履いて仕事がんばるぞ』つて気持ちで、好きなサンリオやジブリのキャラクターのを履いています。先日保護者から『飯野さんいつ見ても短い靴下履いててすごいですね』って言われました。』とのことでした。

新一年生にとって初めての学年が子どもども向こう合っています。学童に入れなくなります。学童に入れなくなります。身が子どもども向こう合っています。仲間の打ち合わせの大切さなど学んでいったと思っています。

仲栄学童ではここ何年も四年で、私も楽しみです。

飯野さんの良い所は、自分ができないことはしっかりと聞いてくれる。そのことに對してどうしていったらよいかと一緒に考えられる、所なのだと。

六年生ですが、「私はどうしたらいいんでしょうか?」と、涙ながらに相談してきて、どうしたら子どもたちが落ちついた学童生活が送れるだろうと話し合いました。そんな新人さんも加え、定例職員会議を三年振りに開催しました。新一年生に向けた学童クラブになります。

仲栄学童ではここ何年も四年で、私も楽しみです。



次はこの人



学童クラブの会のHPはこちらから!  
↓ ↓ ↓ ↓



まだこれからもコロナ禍の波は続くかもしれませんのが、「みんなでつながるがくどうほりく」のテーマのもとつながりを感じられる楽しい1年になつたらと思ひます。

(篠原)

## 編集後記

新緑の季節となりました。

今号は「ようこそ学童へ」特集でした。

新人職員さん四名仲間入りしました。

そんな新人さんも加え、定例職員会議を三年振りに開催